

## 第 35 回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

日時：R3.9.22（水）16:00～16:20

場所：本館 5 階知事応接室

（進行：沼川総括審議員）

### 1 開会

### 2 本部長訓示（蒲島知事）

※別紙「第 35 回熊本県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 本部長訓示」により訓示

### 3 議事

#### （1）感染者の発生状況について

資料 1 により説明（上野健康危機管理課長）

#### （2）感染状況を踏まえた県の対応について

資料 2 により説明（早田健康福祉部長）

#### （3）時短要請に伴う協力金の概要（案）について

資料 3 により説明（藤井商工労働部長）

#### （4）その他

### 【発 言】

#### ●田嶋副知事

新規感染者の減少、病床使用率の改善が見られており、まん延防止等重点措置の解除も見えてきたと思っています。これまで時短要請等の徹底、医療提供体制の確保等に尽力いただき、職員の皆様に感謝します。私たちのミッションは、この減少傾向を確かなものとし、第 5 波を収束させることだと思っています。今後も医療提供体制の確保も続きますが、引き続き尽力をお願いします。来年度の予算編成も始まります。新たな with コロナ、after コロナを見据えた対策も検討していきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

#### ●木村副知事

保健所の職員をはじめ、健康福祉部、各部ここまで本当によくやっていただいています。商工労働部も時短要請等の協力金の枠組みなど全く新しい制度をゼロから導入する、認証制度は観光戦略部の協力のもと、ここまでやっていただき、感謝します。まだまだ、徐々に経済活動を取り戻していく過程にあります。だからこそ、職員はより個別の事業者の厳しい実情に触れに行っていたきたいと思っています。来年度の予算、または補正予算の執行となると来年の 1 月～4 月ごろになることから、年末に向けた対策も必要になります。観光、商工のみならず、福祉、交通、環境、農業関連の事業者についても、年末に向けて苦しい実情があるかと思っています。また、この新型コロナウイルス感染症の流行下で孤立している家庭や障がい者の方、様々な事情の方がおられると思います。今一度各所管の事業者

や厳しい状況にある方たちに向けて、予算を考えていきますので、しっかり対策を練っていただきたいと思います。

●知事

感染者の増加から、2か月になりますが、当初の想定よりも早い速度で感染者が減少しています。ステージ3への引き下げ、また、ステージ2が見える段階まで来たことは、大変うれしく思います。ひとえに県民の皆様、事業者の皆様、医療従事者の皆様のご努力、ご協力によるものであると思います。また、今後は経済活動と感染拡大防止のベストバランスを追求する状況になると思います。しかし、ここでリバウンドさせることがあってはなりません。県民とともに乗り切って、第5波を収束させたいと思います。そして、第6波が来るかもしれませんが、その前にワクチン接種を進め、行動に注意することで、第6波を起こさせない、あるいは小さなものにするにより、地域経済と感染防止のベストバランスが保たれ、普通の生活が戻ってくるのではないかと思います。ただ、油断は大敵です。油断せずに第5波を収束させていきたいと思います。これまでのご協力、ご尽力に感謝します。